



Title	吐魯番出土文物研究会会報 第88号
Author(s)	
Citation	吐魯番出土文物研究会会報. 1993, 88, p. 1-6
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/78899
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

吐魯番出土文物研究会会報

第88号

1993年5月1日
吐魯番出土文物研究会

■ 目 次 ■

く 索 引 >	吐魯番出土漢文墓志索引稿（Ⅲ）	關尾史郎編	1
く 覚 書 >	令狐氏一族の墓志について		6

吐魯番出土漢文墓志索引稿（Ⅲ）

關尾史郎編

【参考文献】

* ここに掲げる参考文献は、特定の墓志に関する専論に限定してある。これ以外の論著については、（Ⅰ）の註や引用文献一覧を参照されたい。また以下の番号は表Ⅰ・Ⅱの番号である。

- 1) 専論として、周偉洲「試論吐魯番阿斯塔那沮渠封戴墓出土文物」（『考古与文物』1980年第1期）や、侯燦「大涼且渠封戴墓表考証」（同氏『高昌樓蘭研究論集』烏魯木齊 新疆人民出版社、1990年、所収）などがあるが、後者は白須淨眞・萩信雄「高昌墓誌考証」（二）（『書論』第14号、1979年）の漢訳を超えるものではない。また西林昭一『中国新出土の書』（二玄社、1989年）、128頁、参照。
- 2) これを北涼時代の墓志としたのは、白須・萩、前掲「高昌墓誌考証」（二）の成果による。
- 9) 専論として、侯燦「高昌章和十三年朱阿定妻楊氏墓表出土時間、地点与有關問題補論」（同氏、前掲『高昌樓蘭研究論集』、所収）がある。
- 21) 西林、前掲『中国新出土の書』、147頁、参照。
- 41) 西林、前掲『中国新出土の書』、138頁、参照。
- 224) 西林、前掲『中国新出土の書』、161頁、参照。
- 275) 気賀沢保規「唐代西州（吐魯番）における府兵の位置について」（『中国辺境社会の歴史的研究』（昭和63年度科学研究費補助金総合研究A研究成果報告書）1989年）、参照。
- 289) 専論として、吳震「麹氏高昌国史索隱－從張雄夫婦墓志談起－」（『文物』1981年第1期）がある。また岡崎敬「新疆アスターの高昌國張雄家系の古墓」（同氏『増補東西交渉の考古学』平凡社、1980年、所収）、中村裕一「敦煌・吐魯番出土唐代告身四種と制書について－唐公式令研究（三）－」（『大手前女子大学論集』第10号、1976年）、『中国書道全集』第3巻・隋唐I（平凡社、1986年）、238頁以下、西林、前掲『中国新出土の書』、169頁、参照。
- 294) 専論として、陳國燦「跋《武周張懷寂墓志》」（『文物』1981年第1期）がある。また中村、前掲「敦煌・吐魯番出土唐代告身四種と制書について」（同氏『唐代官文書研究』中文出版社、1991年、186頁以下）、参照。なお方若著・王壯弘增補『增補校碑隨筆』（上海 上海書画出版社、1981年版）、544頁や、徐自強主編『北京図書館藏石刻叙録』（北京 書目文献出版社、1988年）、108頁なども参照。

表II 唐西州時代の墓志

No.	表題	出土地・所蔵機関	図版(写真・拓本・模本) / 文獻
208	唐貞觀十四年正月任阿悅妻劉氏墓表	69TAM111:1 新博 雅爾湖・溝西・任塋 L1.4.37	／侯80 黄a集36, 黄b147, 穆133 / 黄b70, 文研56
209	唐貞觀十五年正月任阿悅妻劉氏墓表	72TAM171:1 新博 新考 L1.4.37	／侯81 黄a集36, 黄b147, 穆133 / 黄b70, 文研56
210	唐貞觀十六年正月任阿悅妻劉氏墓表	67TAM78:1 新博 新考 L1.4.37	／侯82 黄a集36, 黄b147, 穆133 / 黄b70, 文研56
211	唐貞觀十六年正月任阿悅妻劉氏墓表	73TAM519:35 新博 新考 L1.4.37	／侯83 穆134 / 侯83, 穆134
212	唐貞觀十六年正月任阿悅妻劉氏墓表	56TYM104出土 新博 新考 L1.4.37	／侯84 穆135 / 侯85, 穆135
213	唐貞觀十六年正月任阿悅妻劉氏墓表	73TAM504:28 新考 新考 L1.4.37	／侯86 穆136 / 侯87, 穆136
214	唐貞觀十六年正月任阿悅妻劉氏墓表	73TAM504:28 新考 新考 L1.4.37	／侯87 穆144 / 穆144
215	唐貞觀十六年正月任阿悅妻劉氏墓表	56TYM104出土 新博 新考 L1.4.37	／侯88 黄a集36, 黄b148, 穆137 / 黄b70, 文研75
216	唐貞觀十六年正月任阿悅妻劉氏墓表	73TAM504:28 新考 新考 L1.4.37	／侯89 黄a集36, 黄b148, 穆137 / 黄b70, 文研75
217	唐貞觀十六年正月任阿悅妻劉氏墓表	46TAM16:18 新博 新考 L1.4.37	／陳17 黄a集36, 黄b148, 穆137 / 黄b70, 文研75
218	唐貞觀十八年正月任阿悅妻劉氏墓表	72TAM199:3 新考 新考 L1.4.37	／穆138 / ジャルス1034, 侯89, 穆138
219	唐貞觀十九年正月任阿悅妻劉氏墓表	72TAM199:3 新考 新考 L1.4.37	／穆139 / ジャルス1035, 侯90, 穆139
220	唐貞觀廿一年正月任阿悅妻劉氏墓表	72TAM504:34 新考 新考 L1.4.37	／黄a文4, 黄b70, 文研93
221	唐貞觀廿一年正月任阿悅妻劉氏墓表	72TAM504:34 新考 新考 L1.4.37	／新博d71, 穆140 / 侯91 アヤハ127, 穆141 / ジャルス1035, 侯92, 穆141
222	唐貞觀廿六年正月張延衡墓表	72TAM504:34 新考 新考 L1.4.37	／侯93 黄a集37, 黄b149, 穆142 / 黄b71, 文研106
223	唐貞觀廿一年正月唐某妻辛英彊墓表	64TAM16:18 新博 新考 L1.4.37	／新博d71, 穆140 / 侯91 アヤハ127, 穆141 / ジャルス1035, 侯92, 穆141
224	唐貞觀廿二年正月唐王歡岳墓表	73TAM504:35 新考 新考 L1.4.37	／侯94 黄a集38, 黄b151, 穆145 / 黄b71, 文研134 アヤハ127, 穆146 / ジャルス1036, 侯95, 穆146
225	唐貞觀廿二年正月唐王歡岳墓表	72TAM199:1 新考 新考 L1.4.37	／侯95 黄a集37, 黄b150, 穆143 / 黄b71, 文研123 アヤハ127, 穆146 / ジャルス1036, 侯95, 穆146
226	唐貞觀廿二年正月唐王歡岳墓表	69TAM111:2 新博 新博 L1.4.37	／侯96 黄a集37, 黄b149, 穆142 / 黄b71, 文研106
227	唐貞觀廿二年正月唐王孟隆墓表	69TAM111:2 新博 新博 L1.4.37	／侯97 黄a集37, 黄b150, 穆143 / 黄b71, 文研123
228	唐貞觀廿二年正月唐王孟隆墓表	65TAM42:47 新考 新考 L1.4.37	／侯98 黄a集38, 黄b151, 穆145 / 黄b71, 文研134 アヤハ127, 穆146 / ジャルス1036, 侯95, 穆146
229	唐永徽元年正月唐王歡岳墓表	72TAM302:1-1/2 新博 新博 L1.4.37	／侯99 黄a集37, 黄b149, 穆142 / 黄b71, 文研106
230	唐永徽二年正月唐王歡岳墓表	72TAM302:1-1/2 新博 新博 L1.4.37	／侯100 黄a集37, 黄b150, 穆143 / 黄b71, 文研123
231	唐永徽三年正月唐王歡岳墓表	72TAM302:1-1/2 新博 新博 L1.4.37	／侯101 黄a集38, 黄b151, 穆145 / 黄b71, 文研134 アヤハ127, 穆146 / ジャルス1036, 侯95, 穆146
232	唐永徽四年正月趙松柏墓表	59TAM302:1-1/2 新博 新博 L1.4.37	／侯102 黄a集37, 黄b149, 穆142 / 黄b71, 文研106

-2 (500) -

233	唐永徽四年十二月	張	兒	新考	73TAM221:1	穆149	/侯97, 穆149
234	唐永徽四年十月	張	新考	73TAM208:1	穆147	/侯98, 穆147	
235	唐永徽五年二月	妻	溝西·史塋	1	黃a文4, 黃b1, 文研198		
236	唐永徽五年二月	妻	溝西·史塋	1	吐文b88, 吐博78, 吐文b595		
237	唐永徽六年二月	妻	溝西·史塋	1	侯100		
238	唐永徽六年二月	妻	溝西·史塋	1	穆150	/侯101, 穆150	
239	唐永顯元年二月	妻	溝西·史塋	1	侯102		
240	唐永顯元年四月	妻	溝西·史塋	1	黃a集38, 黃b152, 穆151	/黃b72, 文研231	
241	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	黃a文5, 黃b72, 文研231		
242	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	黃a文5, 黃b73, 文研246		
243	唐永顯元年五月	妻	溝西·史塋	1	侯103		
244	唐永顯元年五月	妻	溝西·史塋	1	黃a集39, 黃b153, 穆152	/黃a集39, 黃b73, 文研316	
245	唐永顯元年五月	妻	溝西·史塋	1	黃a集39, 黃b154, 穆153	/黃a集39, 黃b74, 文研336	
246	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	穆154	/侯105	
247	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	侯106		
248	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	端15, 文研367		
249	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	京博80, 穆155	/八木85, 罷b3, 文研367, 京博151	
250	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	穆156	/穆156	
251	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	侯107		
252	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	穆157	/侯108	
253	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	穆158	/侯109, 穆158	
254	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	黃a文5, 黃b74, 文研393		
255	唐永顯元年正月	妻	溝西·史塋	1	吐文b88	/吐文b596, 侯110	
256	唐麟德元年正月	妻	溝西·史塋	1	黃a集40, 黃b155, 穆160	/黃b74, 文研402	
257	唐麟德元年正月	妻	溝西·史塋	1	穆161	/侯111	
258	唐麟德元年正月	妻	溝西·史塋	1	穆159	/侯112, 穆159	
259	唐麟德元年正月	妻	溝西·史塋	1	穆162	/侯113, 穆162	
260	唐麟德元年正月	妻	溝西·史塋	1	侯114		
261	唐麟德元年正月	妻	溝西·史塋	1	黃a集40, 黃b156, 穆163	/黃b74, 文研447	
262	唐乾封二年正月	妻	溝西·史塋	1	黃a文5, 黃b75, 文研454		
263	唐乾封二年正月	妻	溝西·史塋	1	穆164	/侯10984	
264	唐乾封二年正月	妻	溝西·史塋	1	穆165	/沙仙人1036, 侯115, 穆165	
265	唐乾封二年十一月	妻	溝西·史塋	1	=Ast. ix. 2		

266	唐乾封二元（六六七）年十二月王歡悅·夫人麴氏墓誌	Ast. ix. 1. 03 72TAM199:2 新考	穆166／ <u>氵𠂇</u> 1040, 侯117, 穗167
267	唐總章元（六六八）年九月王雅墓	=Ast.	
268	唐總章元（六六九）年十一月楊保救墓誌	新博67TAM92:34 新博72TAM203:1 新考	新博e 76, 穩168／侯116
269	唐咸亨五（六七一）年正月張安隆墓誌	新博67TAM94:15 新博	穆169／侯118
270	唐咸亨五（六七一）年正月張安隆墓誌	雅爾湖·溝西·曹塋6	穆170／侯119
271	唐咸亨五（六七一）年正月張君行墓誌	60TAM330:28	黃a文6, 黃b75, 文研584
272	唐咸亨五（六七一）年正月張君行墓誌		／侯120
273	唐咸亨五（六七一）年正月張君行墓誌	新博66TAM63:1	穆171／侯122
274	唐咸亨五（六七一）年正月張君行墓誌	新博66TAM61:1	穆172／侯121
275	唐咸亨五（六七一）年正月張君行墓誌	新博64TAM4:54 新考	張蒼3, 穩173／侯123, 文研571
276	唐咸亨五（六七一）年正月張君行墓誌	72TAM201:1 新考	穆174／侯124
277	唐咸亨五（六七一）年正月張君行墓誌	75TAM76:1 新考	穆176／侯125
278	唐儀鳳三（六七二）年正月唐某康師仁墓誌	雅爾湖·溝西·唐塋7	黃a集41, 黃b157, 穩175／黃b76, 文研610
279	唐儀鳳三（六七二）年正月唐某康師仁墓誌	72TAM202:1 新考	穆178／侯126
280	唐儀鳳三（六七二）年正月唐某康師仁墓誌	雅爾湖·溝西·王塋3	黃a文6, 黃b77, 文研636
281	唐儀鳳三（六七二）年正月唐某康師仁墓誌	75TAM76:1 新考	黃a文6, 黃b77, 文研641
282	唐儀鳳三（六七二）年正月唐某康師仁墓誌	羅b3, 文研652	羅b3, 文研652
283	唐永淳元（六八二）年正月唐思文張相妻張氏墓誌	Ast. 010 72TAM199:6 新考	／ <u>氵𠂇</u> 1041, 侯127
284	唐永淳元（六八二）年正月唐思文張相妻張氏墓誌		／ <u>氵𠂇</u> 1041, 侯127
285	唐永淳元（六八二）年正月唐思文張相妻張氏墓誌		／ <u>氵𠂇</u> 1041, 侯127
286	唐永淳二（六八三）年二月張歡夫人麴連墓誌	=Ast. ix. 5 新博69TAM117:1 新博	新博b22, 穩181／侯128, 文研785
287	唐垂拱二（六八六）年九月氾建墓誌	阿斯塔那·古墳塋	／黃a文6, 黃b78, 文研746
288	唐垂拱四（六八八）年二月張雄夫阿名墓誌	L1. 4. 59 新博	／侯131
289	唐垂拱四（六八八）年三月張雄夫阿名墓誌	73TAM206:75 新博	新博c11, 新博d71, 新博e 74 · 75, 穩182／侯129
290	唐垂拱四（六八八）年十一月王遮駢墓誌	59TAM304:1 新博	新博a17／侯130 ／ <u>氵𠂇</u> 1042, 侯132
291	唐永昌元（六八九）年九月氾延仕墓誌	72TAM199:4 新考	
292	周載初元（六九〇）年張運感妻某人墓誌	=Ast. ix. 2 新考	新考73TAM509:1
293	周長壽二（六九三）年二月張富琳墓誌	73TAM512:14 新考	73TAM512:14 新考
294	周長壽二（六九三）年五月張懷寂墓誌	10哈拉和卓出土	10哈拉和卓出土
295	周諱聖元（六九五）年五月田某夫人衛氏墓誌	75TAM86:1 新考	75TAM86:1 新考
296	周神功二（六九八）年臘月范羔墓誌	73TAM504:30 新考	73TAM504:30 新考

穆187	/侯137
穆188	/侯138
新博e77	/侯139
穆190	/侯140
穆191	/侯141
吐文b89,	穆191 /吐文b597
黃a集41,	黃b158, 穆192 /黃b79, 文研1051
新博e78,	穆194 /侯142
穆193	/侯143
穆195	/侯144
穆196	/侯145
穆197	/侯146
穆198	/侯147
穆文a62,	吐博78 /吐文a64, 侯148
侯149	/侯149
侯150	/侯150
吐文b90	/吐文b599
吐文b91,	吐博77 /吐文b601
穆199	/侯151
侯152	/侯152
侯153	/侯153
穆179	/侯154
孫1.1	/黃a文7, 黃b79
黃a文8,	黃b79, 文研2571
黃a文7	/黃a文7
侯155	/侯155
柳79,	吐文b90 /吐文b600, 侯156
侯157	/侯157
国文VII191*	新文16

■覚書：令狐氏一族の墓志について

『吐魯番出土文書』の第二冊に、アスター五二四号墓出土の文書が九点ばかり収録されている（同、三五頁以下）。アスター古墓群の墓の番号は一号から五三二号までだから、この墓の発掘は晚かったということが容易に推測されるが、それだけではなく、おそらく墓地全体のなかに占めるロケーションも良好とは言えないのではないか。

ところでこの墓の墓主だが、この点については隨葬衣物疏が二点出土しており、そこから令狐孝忠夫妻だったことがわかる。夫の孝忠は五五七（建昌三）年に、妻の某氏は五三五（章和五）年に亡くなっているので、この墓は六世紀中期のものということになるが、このうち妻の衣物疏はわずか四行の簡単なもので、副葬品リストの部分もほんのかたちだけである。それに加え、短いわりに誤字や脱字が多く、しかも新紙ではなく「章和五年取牛羊供祀帳」の紙背を用いて作成されているのである。これは衣物疏にあってはきわめて珍しい例で、そこから令狐孝忠、ひいては令狐氏一族の社会的・経済的な力量の低さを主張することも不可能ではない。

残念ながらこの五二四号墓に隣接しているとおぼしき墓からは文書が出土しなかったようだが、侯燦氏の「解放後新出吐魯番墓誌錄」によると、五二五号・五二六号の二墓からは墓志が出土していた。前者から出土したのが表ⅡのNo.197「高昌年次未詳令狐法奴妻趙氏墓記」、後者から出土したのが同No.198「高昌年次未詳令狐某墓記」である。高昌国時代とした根拠はともに墓の形式のようだが、このことはまた墓志自体の貧弱さを意味している。

例えば前者は37cm四方の「土坯」で、「諮議參軍令狐法奴妻趙氏」とわずか三行一一字を記すだけである（諮議參軍という官職名もこれを高昌国時代とする有力な手がかりである）。後者も36cm四方の灰磚で、朱格朱書というが、一行八字程度で七行に及ぶ志文はほとんど釈読できず、しかも右→左とその反対に左→右というように、二回にわたり別筆で書かれたものだとう。これだけでも異色というべきだろうが、おそらく最初に書かれた右端第一・二行は、「□□之墓七月朔」□己未十六日令狐」となっているのである。第三行目にかけて墓主の諱が記されていたことは間違いないと思うが、高昌国時代の墓表や墓誌のほとんどが冒頭に「元号（年）+干支（歳）」という、これも高昌国時代特有の方法で紀年を表記しているなかで、きわめて異色である。あるいは右端から誤って書いてしまったがゆえに、今度は左端から書き直したとしても考えればよいのであろうか（右端冒頭の「□□之墓」をかりに「□□元年」—□□は二字の元号—と釈読できたにせよ、高昌国時代という前提で見れば、干支歳を併記しないのはやはり異常というべきだろう）。

令狐孝忠の妻の衣物疏については、社会的・経済的な力量を云々する以前の問題として、別字や異体字の問題なども考慮しながら、書者が衣物疏の作成に習熟していなかったことを推測してみたが、この二点の墓志に関していえば、前者は明らかに社会的・経済的な地位や力量を反映していると断言してさしつかえないと思われるが、後者は衣物疏がそうであったように、書者が墓志の志文の作成に習熟していなかったと考えることができるのではないだろうか。そしてそのことの意味もまた、やはり社会的・経済的な観点から検討されるべきであろう。（關尾）

事務局（連絡先）〒182 東京都調布市国領町5-19-14

荒川正晴方 TEL 0424(81)4633

吐魯番出土文物研究会 (The Research Society for Turfan Relics)